

「千葉県県民活動推進計画（令和5～7年度）案」への  
パブリックコメントによる意見と県の考え方

番号	御意見の概要	県の考え方	計画案:修正前	計画最終案:修正後																																																	
第4章 県民活動を取り巻く情勢と課題																																																					
1 P16	<p>1－（2）深刻化する社会的な孤独・孤立 内容があまりに淡泊、一面的で、データも「孤独感」のアンケート結果のみであり、「深刻化」と呼べる内容とはいえません。</p> <p>果たして「新型コロナウイルス感染症の拡大」との関連があるのか。あるとすればどのような点で変化が見られるのか。</p> <p>また、その関連とは別に「社会的な孤独感・孤立」が深刻化しているのか。だとすればどのような背景があるか。以上の点を踏まえて記述してほしい。</p> <p>言うまでもなく、孤独と孤立は異なった概念であり、それぞれしっかり分析すべきではないでしょうか。「孤独感」は主観的な感情であり、必ずしも否定的な状況とはいえません。社会的な「孤立」については様々な事象が考えられます。いくつかデータを分析しながら、丁寧に説明すべきと考えます。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症が親しい人との関係や地域・社会とのつながりにどのような影響を与えたのかについて明らかにするため、令和3年に国が実施した調査結果を掲載しました。</p> <p>また、孤独・孤立が深まっている社会的背景について追記しました。</p> <p>なお、課題の背景や現状分析については、内容が多岐にわたるため、主要な内容のみを記載しています。</p>	<p>（2）深刻化する社会的な孤独・孤立 現代社会においては、多様な価値観やプライバシーが尊重される一方で、家庭や地域、職場などにおいて人と人が関わり合い、つながり合う機会が減少しています。さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大により、あらゆる場面において人との交流が制限されたことで、これまで内在化していた孤独・孤立の問題が顕在化・深刻化しています。</p> <div data-bbox="1576 961 2208 1184"> <table border="1"> <caption>孤独の状況（直接質問）</caption> <thead> <tr> <th>状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>しばしばある・常にある</td> <td>4.5%</td> </tr> <tr> <td>時々ある</td> <td>14.5%</td> </tr> <tr> <td>たまにある</td> <td>17.4%</td> </tr> <tr> <td>ほとんどない</td> <td>38.9%</td> </tr> <tr> <td>決してない</td> <td>23.7%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0.9%</td> </tr> </tbody> </table> </div>	状況	割合	しばしばある・常にある	4.5%	時々ある	14.5%	たまにある	17.4%	ほとんどない	38.9%	決してない	23.7%	無回答	0.9%	<p>（2）孤独・孤立<sup>1</sup>の問題の深刻化 核家族化、未婚化・晩婚化を背景とした単身世帯や単身高齢者の増加、また雇用形態の多様化や所得格差の拡大、さらに多様な価値観やプライバシーを尊重する価値観の浸透など、社会環境が大きく変化する中、家庭や地域、職場などにおいて人と人が関わり合い、つながり合う機会が減少しています。さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大により、あらゆる場面において人との交流が制限されたことで、これまで内在化していた孤独・孤立の問題が顕在化・深刻化しています。</p> <div data-bbox="2237 961 2870 1150"> <table border="1"> <caption>孤独の状況（直接質問）</caption> <thead> <tr> <th>状況</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>しばしばある・常にある</td> <td>4.5%</td> </tr> <tr> <td>時々ある</td> <td>14.5%</td> </tr> <tr> <td>たまにある</td> <td>17.4%</td> </tr> <tr> <td>ほとんどない</td> <td>38.9%</td> </tr> <tr> <td>決してない</td> <td>23.7%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0.9%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <div data-bbox="2237 1178 2870 1457"> <table border="1"> <caption>コロナ禍における日常生活の変化</caption> <thead> <tr> <th>関係</th> <th>良くなった</th> <th>まあ良くなった</th> <th>変わらない</th> <th>やや悪くなった</th> <th>悪くなった</th> <th>無回答</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>家族以外の親しい人との関係</td> <td>65.1%</td> <td>1.0%</td> <td>24.0%</td> <td>8.3%</td> <td>2.4%</td> <td>0.2%</td> </tr> <tr> <td>地域・社会とのつながり</td> <td>59.8%</td> <td>0.5%</td> <td>27.1%</td> <td>8.8%</td> <td>2.9%</td> <td>0.1%</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>（注） <sup>1</sup> 一般に、「孤独」は主観的な概念で、ひとりぼっちと感じる精神的な状態を指し、「孤立」は客観的な概念で、社会とのつながりや助けのない又は少ない状態を指す。なお、孤独・孤立対策においては、当事者や家族等が「望まない孤独」及び「孤立」を対象とする。（孤独・孤立対策推進会議「孤独・孤立対策の重点計画」より）</p>	状況	割合	しばしばある・常にある	4.5%	時々ある	14.5%	たまにある	17.4%	ほとんどない	38.9%	決してない	23.7%	無回答	0.9%	関係	良くなった	まあ良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答	家族以外の親しい人との関係	65.1%	1.0%	24.0%	8.3%	2.4%	0.2%	地域・社会とのつながり	59.8%	0.5%	27.1%	8.8%	2.9%	0.1%
状況	割合																																																				
しばしばある・常にある	4.5%																																																				
時々ある	14.5%																																																				
たまにある	17.4%																																																				
ほとんどない	38.9%																																																				
決してない	23.7%																																																				
無回答	0.9%																																																				
状況	割合																																																				
しばしばある・常にある	4.5%																																																				
時々ある	14.5%																																																				
たまにある	17.4%																																																				
ほとんどない	38.9%																																																				
決してない	23.7%																																																				
無回答	0.9%																																																				
関係	良くなった	まあ良くなった	変わらない	やや悪くなった	悪くなった	無回答																																															
家族以外の親しい人との関係	65.1%	1.0%	24.0%	8.3%	2.4%	0.2%																																															
地域・社会とのつながり	59.8%	0.5%	27.1%	8.8%	2.9%	0.1%																																															

番号	御意見の概要	県の考え方	計画案:修正前	計画最終案:修正後
第4章 県民活動を取り巻く情勢と課題				
2 P20	<p>2-I-(1) 県民活動の理解・参加</p> <p>冒頭の「県民活動に関心がある人（中略）一方で、継続的に活動に参加している人は1割程度にすぎない。」とあるが、「すぎない」は不適切な表現である。「とどまっている」がよいのでは。</p> <p>「継続的に活動に参加」するまで至っていないわけで、条件や事情が変われば「継続的に」参加できる人たちが40%もいるということを前向きにとらえ、むしろ県は、条件整備や事情に応じて参加できるしくみ等を検討すべきではないでしょうか。</p>	<p>ご指摘のとおり修正を行いました。</p> <p>なお、県では、継続的な活動につなげていくため、体験や活動の機会を提供するとともに、ボランティアの受け入れに関して市民活動団体等への支援を行うなど、各種取組を推進することとしています。</p>	<p>(1) 県民活動の理解・参加</p> <p>○県民活動に関心がある人、実際に活動している人の割合は共に4割台半ば。一方で、継続的に活動に参加している人は1割程度にすぎない</p>	<p>(1) 県民活動の理解・参加</p> <p>○県民活動に関心がある人、実際に活動している人の割合は共に4割台半ば。一方で、継続的に活動に参加している人は1割程度に<u>とどまっている</u></p>